

## 主要行等の平成 27 年 3 月期決算の概要

### 1. 損益の状況（グループ連結ベース）

- 27 年 3 月期は、資金利益や役務取引等利益が増加したものの、海外業務関連経費や与信関係費用が増加したことなどにより、当期純利益は前期に比べ 2.3% の減少。

(単位：億円)

	25 年 3 月期	26 年 3 月期	27 年 3 月期	前期比
連結業務粗利益	101,573	102,382	111,088	8,706
資金利益	51,059	52,830	56,616	3,786
役務取引等利益	28,288	31,280	33,444	2,164
その他業務利益	12,370	7,272	9,357	2,085
うち債券等関係損益(※※)	7,562	1,831	3,209	1,378
経費	▲ 57,387	▲ 60,346	▲ 65,336	▲ 4,989
連結業務純益	44,295	42,042	45,701	3,659
与信関係費用(※)	▲ 3,893	2,069	▲ 1,396	▲ 3,466
株式等関係損益	▲ 1,681	3,470	3,420	▲ 50
うち株式等償却(※※)	▲ 2,686	▲ 652	▲ 218	434
当期純利益	27,077	29,506	28,820	▲ 686

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。 ※※ 債券等関係損益、株式等償却については銀行単体ベース。

(参考)	25 年 3 月期	26 年 3 月期	27 年 3 月期
貸出金（末残）	259.1 兆円	273.4 兆円	288.8 兆円

(注) 貸出金は銀行単体ベースの銀行勘定計

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 26 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。

(いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低)

	25 年 3 月期	26 年 3 月期	27 年 3 月期
不良債権額	5.1 兆円	4.0 兆円	3.5 兆円
不良債権比率	1.78%	1.33%	1.10%

### 3. 自己資本比率の状況（グループ連結ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率、普通株式等 Tier1 比率は、26 年 3 月期に比べ上昇。

- 国内基準行の自己資本比率は、公的資金の返済を進めたことに伴い、26 年 3 月期に比べ低下。

(国際統一基準行：4 グループ)

(国内基準行：3 グループ)

	26 年 3 月期	27 年 3 月期		26 年 3 月期	27 年 3 月期
総自己資本比率	15.18%	15.63%	自己資本比率	14.27%	13.95%
Tier1 比率	11.98%	12.33%			
普通株式等 Tier1 比率	10.33%	10.70%			

(注) 記載金額・比率は、四捨五入して表示。